2015年度（平成27年度）

重　点　政　策

福　山　市

福山市は2016年（平成28年）7月1日に 市制施行100周年を迎えます

はじめに

本市を取り巻く環境は，国の経済情勢や少子化・高齢化の進行などを背景に依然として厳しい状況が続いています。地方から都市部への人口流出が続く中，本市においても，人口減少社会の到来が現実味を帯びてきており，将来にわたって発展し続けるため，時代の変化に柔軟に対応できる行政運営や市民が主役のまちづくりをより一層進めていく必要があります。

こうした中，『チャレンジ！ １００周年』も３年目を迎え，「１００万本のばらのまちづくりの推進」や「環境と健康」をテーマとした施策，「２１世紀を担う人材育成」など，全市を挙げて取り組む５つの施策それぞれが，新しいステージへとステップアップを図る年度と位置付けています。

また，新年度の重点政策では，新たに『人口減少対策』や『連携中枢都市を核とする新たな広域連携（連携中枢都市圏構想）』，『協働の更なる深化』として，人口減少社会への対応や備後圏域の一体的な発展に向けた取組など，本市そして備後圏域の将来を見据え，活力ある地域づくりにつながる施策にも力を入れて取り組みます。

ここに掲げる重点政策に着実に取り組むことで，だれもが豊かさを実感でき「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりを力強く進めていきます。

＜重点政策について＞

重点政策は，新年度における主要な新規事業や拡充する事業などを基本に計上するものです。個別の事業期間や重点化を行う期間が終了した事業，重点政策として集中的に取り組んだ結果，一定の成果が挙がり，本市の施策として定着したものなどについては，重点政策から外れることになります。したがって，重点政策の予算額は年度によって増減が生じます。

２０１５年度（平成２７年度）では，２４施策（前年度より２施策の減），約７１億円（対前年度比約２億円の増）を重点政策として取り組んでいくこととしています。

2015年度（平成27年度）重点政策一覧（目次）

（単位：千円）

柱立て	施策名	分野					事業費	内訳		ページ
		教育	環境	活力	福祉	安心安全		当初予算額	再掲分	
㊐人口減少対策				○	○		25,640	3,590	22,050	1
㊐連携中枢都市を核とする新たな広域連携（連携中枢都市圏構想）		○	○	○	○	○	160,228	160,228		3
㊐協働の更なる深化				○			44,261	44,261		5
チャレンジ！１００周年	１００万本のばらのまちづくりの推進			○			179,224	179,224		8
	福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出			○			350,762	186,200	164,562	9
	里山里地の再生・保全		○	○			38,311	38,311		10
	環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案	○	○	○	○	○	515,138	402,922	112,216	11
	２１世紀を担う人材育成	○				○	3,005,604	2,905,604	100,000	14
	“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク	○	○	○	○	○	14,223	10,775	3,448	15
小計	8件							3,931,115		
市民の自立と参画	市制施行１００周年記念事業の推進			○			172,900	172,900		18
文化財の保護と活用	鞆地区町並み保存	○					56,638	56,638		19
鞆地区の再生・活性化	鞆地区まちづくりの推進	○		○		○	446,913	345,675	101,238	20
都市ブランドの創出と発信	都市ブランド戦略の推進			○			39,058	39,058		21
	㊐戦略的な観光振興		○	○			2,000	－	2,000	22
効率的・効果的な行政運営の推進	公共施設サービスの再構築			○			5,500	5,500		23
地域の活性化	競馬場跡地利活用の推進			○			101,800	101,800		24
	産学官連携の推進			○			7,895	7,895		25
	スマートＩＣ（インターチェンジ）の整備			○			218,000	218,000		26
	㊐活力とにぎわいあふれる港づくり			○			5,887	5,887		27

（単位：千円）

柱立て	施策名	分野					事業費	内訳		ページ
		教育	環境	活力	福祉	安心安全		当初予算額	再掲分	
消防・救急体制の充実	消防・救急体制の整備					○	500,237	500,237		28
災害に強いまちづくり	上下水道施設の耐震化					○	253,833	253,833		29
	㊎市街地の浸水対策					○	611,291	611,291		30
安心・安全な給水の確保	出原浄水場の更新					○	377,076	377,076		31
市民の安全対策	防犯環境の整備					○	53,235	53,235		32
	歩道・自転車走行空間の整備		○		○	○	391,000	391,000		33
小計	16件							3,140,025		
合　　計	**24件**							**7,071,140**		

各ページの見方

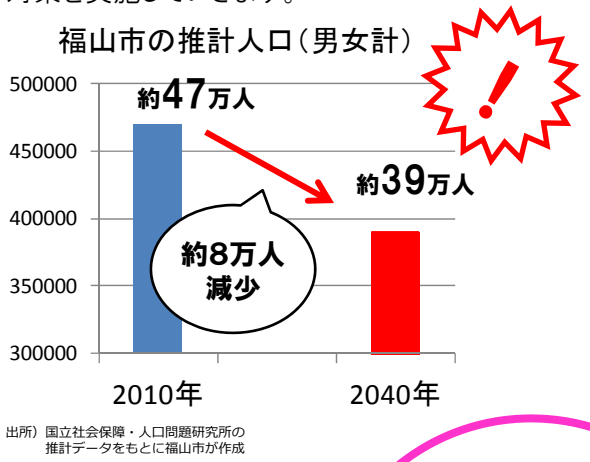
㊎マーク
2015年度（平成27年度）に初めて重点政策に計上される「新規」の施策です。従来から実施している施策であっても，重点政策として初めて計上される場合は「新規」となります。
また，これまでの継続事業に初めて取り組む事業を加え，内容を再編した施策についても「新規」となります。
【主な取組内容】について，新たに加わった事業には㊎としています。

㊍マーク
緊急経済対策分
国の緊急経済対策により，2014 年度（平成26年度）に前倒しして実施する予定の事業です。

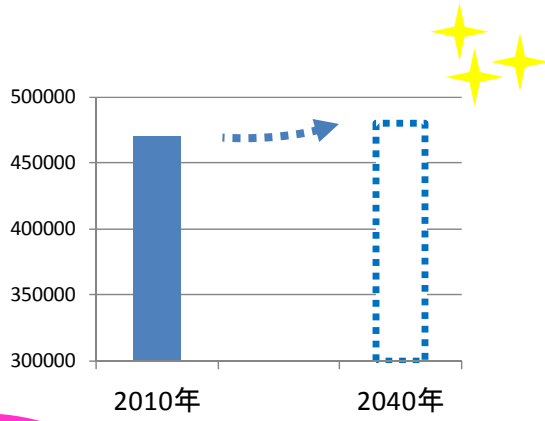
㊕ 人口減少対策

予算額　25，640千円
（うち，再掲分　22,050千円）

全国的に急激な人口減少社会を迎える中，本市においても2040年（平成52年）には現在の人口から約8万人減少すると予測されています。こうした社会環境の変化を踏まえ，待機児童ゼロなどに代表される充実した保育サービスや子育て支援など，本市が中核都市として培ってきた強みを生かした人口減少対策を実施していきます。



出所）国立社会保障・人口問題研究所の推計データをもとに福山市が作成



自然減の抑制

少子化対策として，結婚･妊娠･出産への支援や子育て支援の充実，家庭と仕事の調和への支援に取り組みます。

社会減の抑制

移住希望者や若者への就職支援に取り組むとともに，本市の暮らしにおける魅力や移住のための情報などを効果的に発信していきます。

地域経済の活性化

人口減少抑制の基盤づくりとして，第一次産業などの発展や，創業への支援などに取り組みます。

(仮称)
人口減少対策
チーム発進!!

自然減の抑制

少子化対策の推進
生み・育ててみたいと思えるまち

○結婚・妊娠・出産の支援

(1)結婚

・若者交流の支援（婚活の支援）
　ふくやまde愛サポーターの育成やイベントの開催など，若者の「結婚したい」を支援します。

(2)妊娠・出産

・新 経 不妊治療への助成
　一般不妊治療に要した自己負担額の2分の1の額（限度額有）を助成します。

○子育て支援

(1)子育て支援の充実

・新 経 子育て支援システムの開発
　イベントや医療などの子育て情報を一元化した仕組みを構築します。

・新 子育て商品のリユースの推進
　不用になった子育て関連商品を，NPOや子育て支援団体等へ情報提供するなど，リユースを推進します。

・新 大学との連携による発達障がいの支援（※再掲）

(2)家庭と仕事の調和

・新 男性の子育て参加促進
　講座を開催することで，子育てのポイントや楽しさなどを伝え，男性の子育て参加を促します。

・新 （仮称）女性戦略会議の創設
　女性ならではの視点で，働きやすい職場環境づくりや子育て支援などへの意見を聴く仕組みを構築します。

・新 女性の活躍促進
　保育士や看護師の再就職支援として，セミナーなどを開催します。

社会減の抑制

定住・移住の促進
住んでみたい
住み続けたいと思えるまち

○転入者の増加

(1)住む

・新 空き家対策（※再掲）

(2)働く

・新 若年者の就職支援（※再掲）
・経 UIJターン就職の推進（※再掲）

(3)相談体制・情報発信の強化

・新 経 定住・移住の促進（※再掲）
　移住に関する情報を掲載したパンフレット等を作成し，情報発信の強化などに取り組みます。

地域経済の活性化

働いてみたい
働き続けたいと思えるまち

・水産業の強化
　地場水産物の流通改善や6次産業化などによる漁業所得向上へ向けた取組を進めます。

・新 経 6次産業化の推進（※再掲）
・新 林業振興にかかる調査研究（※再掲）
・新 経 女性の創業支援（※再掲）

これまで培ってきた
福山市の強み

○充実した保育サービス（待機児童ゼロの継続，市民協働による子育て支援の充実など）
○きめ細かな発達支援の充実（こども発達支援センターなど）
○ものづくり産業の発展・集積　　など

新 連携中枢都市を核とする新たな広域連携（連携中枢都市圏構想）

予算額 160，228千円

全国的に人口減少や少子化･高齢化が進行する中，今後は単独の自治体ですべての行政サービスを担うことが困難になることが予測されます。そのため，歴史的に結びつきが深く，日常生活圏が重なる備後圏域6市2町（福山市，三原市，尾道市，府中市，世羅町，神石高原町，笠岡市，井原市）のそれぞれの独自性を生かした広域連携を推進することで，人口減少に歯止めをかけ，将来にわたって発展し続ける圏域づくりに取り組みます。

人口減少

- 人口構造の変化（少子化・高齢化）
- 地域経済の成長力の低下
- 税収の減少
- 社会基盤 生活基盤の脆弱化

連携中枢都市圏形成へのチャレンジ！

備後圏域では，2011年度（平成23年度）に備後圏域連携協議会を立ち上げるなど，県境を越えた市町の連携を深めることで広域的な課題解決に取り組んできました。このたび，これまで培ってきた備後圏域6市2町のつながりを背景に，本構想を活用した圏域の更なる発展に取り組むものです。

○これまでの成果
- ･こども発達支援センターの共同運営
- ･防災協定の締結　など

○連携中枢都市圏構想
地方公共団体間の連携や役割分担によって，地域経済の活性化や住民サービスの維持･向上に取り組む制度

圏域づくりの基本方針

- **産業**：圏域全体の経済成長のけん引
- **都市機能**：高次の都市機能の集積・強化
- **住民サービス**：圏域全体の生活関連機能サービスの向上

×

圏域の地域資源

しまなみ海道（尾道市）

鞆の町並み（福山市）

笠岡諸島（笠岡市）

府中家具（府中市）

たこ（三原市）

井原デニム（井原市）

神石牛（神石高原町）

全国高校駅伝 世羅高校（世羅町）

etc

「豊かさが実感でき，いつまでも住み続けたい備後圏域」へ

圏域づくりの基本方針と取組内容

圏域全体の経済成長のけん引

・㊕ **備後圏域産業連関表の作成・活用**
・㊕ **産業支援拠点機能の充実**
・㊕ 中小企業事業者のイノベーション等の推進
びんご産業支援コーディネーターの育成・活動支援や異分野異業種の合同研修・イベント開催など
・㊕㊎ 女性の創業支援
創業に向けた環境整備や各種セミナー，啓発講座などを実施します。
・㊕㊎ **6次産業化の推進**
・㊕ 第一次産業振興のための環境整備
林業・木材産業振興に向けた調査 など
・㊕㊎ 戦略的な観光振興
広域観光ルートの研究や設定，観光客の受入体制の整備，教育旅行の誘致などに取り組みます。

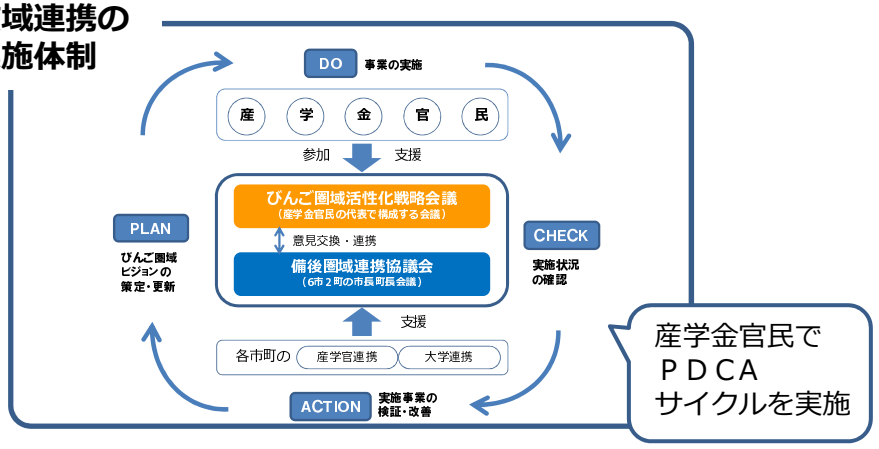
など

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

・地域医療の充実
各医療機関のネットワークの強化や救急医療体制などの連携強化を促進します。
・㊕ 高齢者や障がい者などの福祉の充実
医療と介護の連携強化や専門性の高い相談支援体制，地域包括ケアシステムなどの構築に取り組みます。
・子育て支援の充実
こども発達支援センターの共同運営 など
・㊕ 備後圏域定住促進事業
大都市圏での定住フェアの開催や情報発信の強化などに取り組みます。また，空き家の実態調査の実施など，広域的な空き家バンク制度の検討に取り組みます。

など

広域連携の実施体制



高次の都市機能の集積・強化

・高度な医療サービスの提供
安心・安全な医療提供体制の確立をめざし，医療連携の促進と圏域全体の医療の質の向上に取り組みます。
・㊕ **次世代の人材育成に向けた高等教育の充実**
大学や研究機関，企業などと連携し，圏域のシンクタンク機能を高めることで，幅広い分野で圏域の発展を支える人材の育成に取り組みます。

など

Pick UP！

圏域全体の産業振興の仕組みづくり

○**圏域全体の産業連関表の作成**
○**技術者養成などを担う産業支援の拠点機能整備に向けた基礎調査**
○**びんご産業支援コーディネーターの育成・活動支援**

第一次産業の活性化

○**目利き人材を活用した6次産業化の推進（瀬戸内の小魚のブランド化など）**
○**林業・木材産業振興に向けた調査**

広域的な発達支援の推進（子育て支援の充実）

○**こども発達支援センターの共同運営**
○**子育て応援センターにおける育児相談，ことばの相談室の充実**
○**福山市立大学と連携した発達障がいを支える人材育成，特別支援教育の充実**

新 協働の更なる深化

予算額　44，261千円

市民一人ひとりが各地域で「まちづくりの主役」として，協力し合い，いきいきと活躍できるまちの実現に向けて，人材育成やネットワークづくりに積極的に取り組み，持続可能なまちづくりを担う実践者・応援者を増やします。

○市民協働による文化施設の運営

地域住民との協働による文化施設の運営を行い，地域資源を生かしたまちづくりに取り組みます。

【（仮称）松永はきもの資料館】

○地域まちづくり計画の推進

学区（町）まちづくり推進委員会において，地域住民が自分たちの地域の課題の解決方法や将来像（ビジョン）などをまとめた「地域まちづくり計画」の策定・推進を支援します。

地域まちづくり計画策定

まちの将来像を描き実践

○まちづくりサポートセンターを核にしたネットワークづくり

「まちづくりサポートセンター」を核とし，ボランティア・ＮＰＯなどに関する情報の集約や団体・人材の育成，市民活動団体の連携窓口として多様なまちづくりへの参画の場の提供を行うなど，全市的に市民活動を支援します。サポートセンターの登録者のさらなる活躍に向け，マッチング（仲介）を行います。

まちづくりカフェ

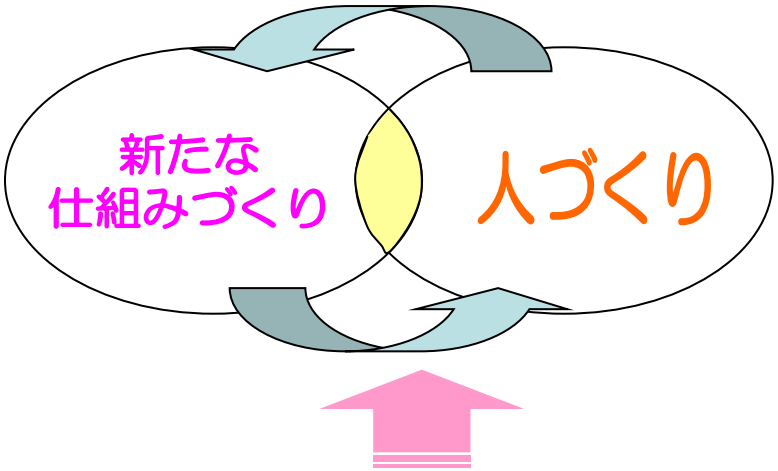
多様な主体がつながる

チャレンジ！１００周年

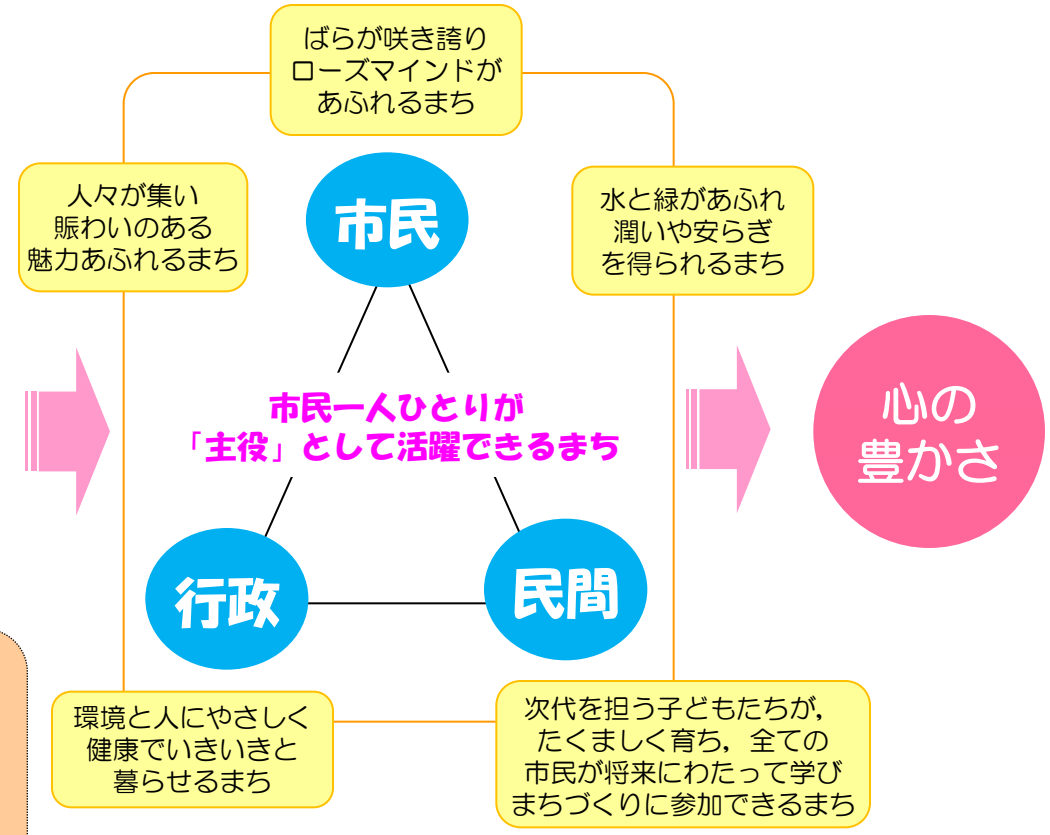
○チャレンジ！　100周年

2016年（平成28年）7月1日の市制施行100周年に向け，『チャレンジ！ 100周年』として，全市を挙げて取り組む5つの施策を位置付けています。市民の皆様がまちづくりに参加することに，やりがいや喜びを感じることができるよう，「新たな仕組みづくり」を進めるとともに，それを支える「人づくり」にも取り組みます。これまでの「協働」の取組を更に深めることにより，市民一人ひとりがまちづくりの「主役」として活躍でき，心豊かに暮らせる『福山』をめざします。

住民自治（自らのまちは自らつくる）の確立



1　100万本のばらのまちづくりの推進
2　福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出
3　里山里地の再生・保全
4　環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案
5　21世紀を担う人材育成・“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク



１００万本のばらのまちづくりの推進

予算額　１７９，２２４千円

市民や各種団体，事業者，行政が連携し，「ばらが咲き誇るまち」をめざすとともに，「ばらのまち福山」を市内外にアピールし，『100万本のばらのまち』の実現に取り組みます。

○ばらの植栽サポートプロジェクト

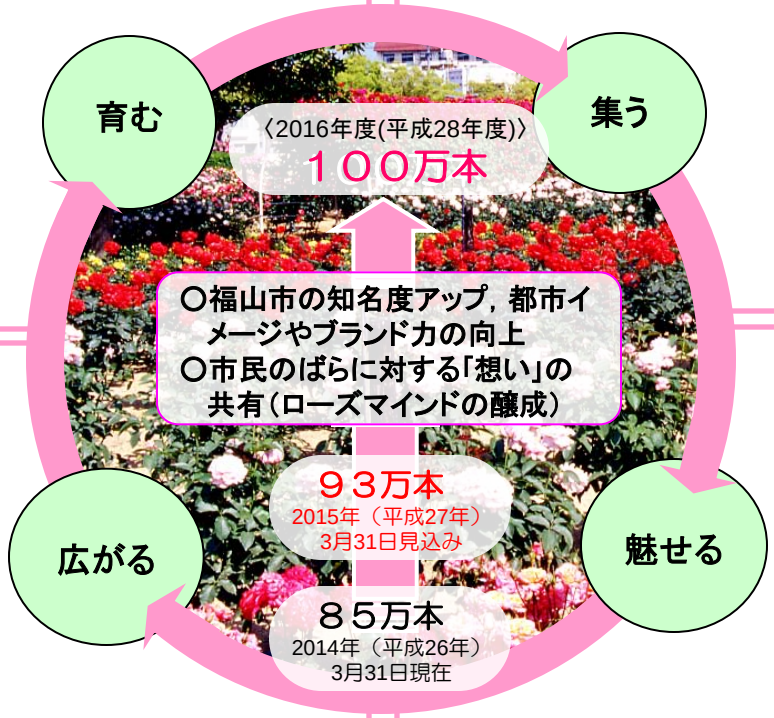
・福山ばら大学（第六期）（ばら栽培のリーダーを養成）
・地域ばら花壇の維持管理への支援（ばら栽培用肥料の配布）
・老人大学ばらづくり講座
　（講座修了者による花壇への植栽・維持管理）

【福山ばら大学での実技講習】

○新たな名所，拠点となる場所の創出プロジェクト

・ばらのまち福山のシンボルとなる拠点の整備
　（ばら公園の再整備・中央公民館跡地の整備など）
・㊎ 市民参加型「ローズロード」の整備（福山駅からばら公園まで）
・ばらの魅力発信事業
・学校ばら花壇など公共施設の花壇への植栽・維持管理

【学校ばら花壇】



【新生児誕生記念ばら苗配布】

○全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

・新生児誕生記念に一人一鉢の「ミニばら苗」をプレゼント
・ＪＲ，コンビニなどへのばらプランターの設置
・花壇オーナー制度などの促進

【市民団体と一緒にばらのＰＲステージ】

○花だけじゃない！！ばらのアピールプロジェクト

・ばらのイメージキャラクター「ローラ」によるＰＲ
・100万本のばらのまち福山応援大使 加藤登紀子さんによるＰＲ
・ばらに関連した商品の充実・拡充
・ローズマインドの継承

福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出

予算額　３５０，７６２千円
（うち，再掲分　164,562千円）

備後都市圏の玄関口にふさわしい賑わいのある交流拠点の形成や，中心市街地の新たな魅力づくりと賑わい創出に向け，文化ゾーンと商業地区の回遊性向上のほか，市民，NPO，商業者などが相互に連携した活動の中心を担う推進母体の構築などに取り組みます。

人が集う中心市街地の魅力の創出

住みたい・行きたい・買いたい魅力

ひと（人づくり）

【福山の未来づくりワークショップ】

〇中心市街地賑わい創出活動の支援
- 市民活動推進母体の運営
- 活動費用捻出方法の構築
- コミュニティ活動の推進
- ワークショップの実施
- 社会実験フクノワの実施

こと（賑わいづくり）

【ルクシアタふくやま 】

〇冬のイベントの拡充
- ルクシアタふくやまの開催

〇南北連携事業
- 本をキーワードに駅南北の施設の回遊性を高めるイベント「えーほんdeまち歩き」の開催

〇各種イベントの連携
- うずみフェスタなど（※再掲）

もの（空間づくり）

【7階ものづくり交流館】

〇エフピコＲｉＭの魅力の創出
- ものづくり交流館，えほんの国の利用者増加につながる広報，ＰＲの充実など

〇本通地域まちづくり
- 本通商店街や本通船町商店街のアーケード改修事業の推進と道路の美装化

〇ばらの拠点整備（※再掲）
〇㊎「ローズロード」の整備（※再掲）
〇ばらの魅力発信事業（※再掲）

里山里地の再生・保全

予算額　３８，３１１千円

農地・森林所有者等と市民，企業などが協働で里山里地の再生・保全に取り組み，余暇や教育に活用することで
市民と里山里地の新たな関係を構築し，水と緑に満ちた農山村地域を次の世代へ引き継いでいきます。

里山里地の再生・保全活動に取り組む地域

既存の事業等

里山の再生・保全

〇再生
- 里山林整備事業［県］
- 環境貢献林整備事業［県］
  （人工林の健全化，被害木の処理）

〇保全
- 地域資源保全活用事業［県］
  （住民団体等の企画による取組）
- 森林・林業体験活動支援事業［県］
  （森林整備講習会）

里地の再生・保全

〇再生
- 耕作放棄地対策事業
- 耕作放棄地再生利用緊急対策［国］
- 水路，農道，ため池等の土地改良事業

〇保全
- 地域活動支援事業
- 侵入防止柵設置事業
- 箱わな設置事業
- 大規模防護柵設置事業［国］
- 中山間地域等直接支払制度［国］
- 多面的機能支払［国］

地産地消の推進
- 市内農林産物の生産振興・利用拡大
- 多様な担い手の確保・育成
- ６次産業化の推進
- 地域ブランドの確立
- 食育の推進

地域ぐるみでの持続可能な仕組みづくり

里山里地地域支援事業

【協働の主な取組】
①適正な森林管理，水路・農道の保全
（間伐，草刈り，川の清掃，ごみ拾いなど）
②耕作放棄地の再生活用
（市民農園，体験農園，ヤギ放牧など）
③有害鳥獣被害対策
（防護柵･箱わなの設置，ジビエ料理など）
④野生動植物やその生息地の保全･管理
（昆虫の産卵場所造成など）
⑤里山里地の資源活用
（農林産物を利用した商品開発，竹木利用など）
⑥里山里地の魅力発信
（古民家の再生，里山コン等イベントの開催など）

コミュニティビジネスなどを確立させて，
将来にわたって持続可能な地域づくりを進める

事業参加

里山里地の魅力発信

都市住民等

- 里山里地のイベントへの参加
- ライフスタイルに応じた農林業体験
- 市内産農産物の積極的な購入･消費
- 自然（憩い･癒し），食文化とのふれあい
- 里山里地への理解

里山里地への理解･興味

協働による事業実施

マッチング（福山市）

協働して取り組む市民等

里山里地保全協定事業
- 企業の社会的責任（ＣＳＲ）
- 企業のイメージアップ
- 人的または資金的支援

里山里地協力隊支援事業
- ボランティアによる社会貢献
- 農林業技術の習得
- 自然とのふれあい
- 健康増進，ストレス解消

予算額　５１５，１３８千円
（うち再掲分　112,216 千円）

環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案

プロジェクトⅠ
いきいき環境・健康スローライフ
プロジェクトⅡ
環境にやさしく活力ある地域社会の構築

○ 再生可能エネルギーの積極的な活用（太陽エネルギーなどの導入促進）
○ ベスト運動の推進，エコ通勤の推進
○ 自転車を利用しやすいまちづくり（自転車走行空間の整備など）
○ いくつになってもいきいきと暮らせる地域づくり

環境にやさしく活力のある地域社会の実現

健康づくりと食育の推進

○ 地産地消の推進（給食への地場産農産物の使用拡大など）
○ 食育の推進（「食育の日」（毎月　１９日）の活用など）
○ 農商工連携の推進（スイーツの活用・介護食への展開）
○ 地域での健康づくり（ウォーキングの推進など）

豊かな農山漁村

○ 里山里地の再生・保全（耕作放棄地対策など）
○ 地域特性を生かした余暇活動の充実

《自然と共生し地球にやさしい，だれもが健康でいきいきと暮らせるまちづくり》
～自然の恵みや人の繋がりが感じられる暮らしの実践～

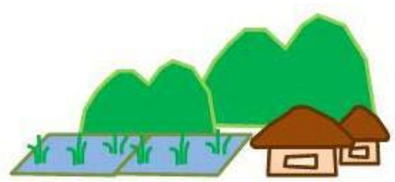
◇健康や自然環境に配慮した暮らしの実現
・美しい景観と癒される環境づくり（きれいな大気・きれいな水・たくさんの花と緑）
・生活習慣の見直し（運動・食生活・癒し）

◇生活の質を高め，人も地域も元気になる（地域コミュニティの再生）
・地域資源の再発見・ブラッシュアップによる地域活性化（商品化・事業化）
・趣味や余暇活動を大切にすることによる生活の質の向上
・環境観光などによる交流人口の増加

⇒健康寿命※の延伸や二酸化炭素排出量の削減にもつなげていく
※健康寿命…平均寿命のうち健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

地域固有の物語の発掘

○ 環境観光の推進（次世代エネルギーパークの活用など）
○ ヘルスツーリズムなど癒しのあるまちづくり
○ 食文化の伝承（食ブランドの推進・郷土料理（うずみなど）の伝承・保命酒の活用など）



プロジェクトⅠ　いきいき環境・健康スローライフ　～環境と人にやさしく，健康で暮らしやすいまちづくり～

「健康」や「農」を通じた地域活動を推進し，市民の健康づくり・生きがいづくりに取り組むとともに，都市と農山漁村の交流推進や地域資源を活用した新たな商品開発などにより，交流人口の増加や地域コミュニティの再生，新たなビジネスチャンスの創出に取り組みます。

※印：今後実施に向けて検討

健康づくり

「健康」を通じた地域活動（生きがいづくり，健康づくり）

○地域の魅力を探るウォーキングの充実

○運動普及推進員等の育成・活動支援

○市民農園，学校農園などの活用

○里山里地 再生・保全活動（協力隊）への参加

環境づくり

「農」を通じた地域活動

＜農作物の栽培・収穫＞
安心安全な農作物
農作業＝健康づくり
小中高生の農業体験

農産物の収穫

生きがいづくり
楽しみの提供

都市と農山漁村の交流推進
（グリーンツーリズムなど）

流　通

消費・販路拡大

○産直市・インショップの充実
（農林水産物の販売　・加工品の販売）
○㊟6次産業化の推進（※再掲）

＜地産地消の推進＞
・地場産農産物の使用拡大
（学校・保育所給食，大学・企業の食堂）
・「福山うずみごはん」を通じた地場産品のPR
（※再掲）

○食の安心・安全と環境にやさしい取組の推進

○郷土料理（うずみ等）の伝承

地域資源の活用

新たな商品づくり

○地場産農産物を活用した商品化
（地域との協働，農商工連携により実施）

※スイーツを活用した商品化
（地域の土産）←高校生のアイデア
※在宅介護食等への展開＝商品化へ
↑病院・高齢者施設，市立大学との連携

ビジネスチャンス

活用

学校・家庭・事業所等

食品残さリサイクル
・堆肥化，飼料化　など

環境意識の向上

農を通じた環境づくり

◆環境にやさしい！
◆健康寿命が伸びる！
〔体にいい　心にいい！〕
◆地域も元気になる！

食育（食を通じた健康づくり）

○家庭，地域，学校，保育所における食育の推進
○公民館や集会所等における食を通じた健康教育等の実施
○食生活改善推進員の育成・活動支援
コンビニ等と連携した地域における健康情報の発信の充実

環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案
プロジェクトⅡ　環境にやさしく活力ある地域社会の構築

家庭・地域・企業などが一体となった温暖化対策や自然環境の保全に取り組むとともに，自転車利用など交通手段の変更を促すことにより，健康づくりも推進します。また，次世代エネルギーパークを活用した環境観光などの環境ビジネスにも取り組みます。

《家庭・地域》

○学校や地域などでの
　環境教育の推進
○環境学習パートナー，
　指導者育成
○太陽エネルギー導入
○緑のカーテン　など

地球温暖化防止活動
環境大臣表彰

《行政》

○公共施設への再生可能エネルギーの導入
○エネルギーの高度利用
・地域資源を生かしたエネルギー利用
・市民共同発電の検討

《企業》

○環境マネジメント
　システム補助など

○里山里地の再生・保全（※再掲）
（地域間交流の促進）

○次世代エネルギーパーク
　整備事業
㊟「環境学習拠点の整備」
・福山市リサイクルプラザ機能の強化
・環境体験学習の充実

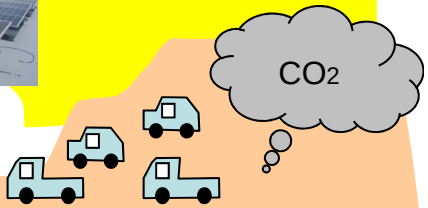
都市と農山漁村地域との交流
地域間交流の促進
生きがいづくり
自然環境の保全

エネルギーの地産地消
家庭や地域での温暖化対策

◆地域コミュニティの活性化
◆環境ビジネスの創造
◆健康づくりの推進

環境観光の振興

交通手段の変更



○ベスト運動の推進（※再掲）
○ゾーンバスシステム

＋

○ウォーキング習慣
（ウォーキングマップの活用）
○サイクリング習慣

○自転車利用の促進

・自転車走行空間の整備（※再掲）
・自転車マップの活用
・交通ルール・マナーの徹底
・交通安全教室の実施
・健康につながる自転車利用
　の啓発

21世紀を担う人材育成

予算額　３，００５，６０４千円
（うち，再掲分　100,000千円）

本市の未来を担う人づくりを進めるため，学校・家庭・地域・行政が信頼と協働のもと，児童生徒の個性を尊重し，創造性と自立性を高める教育に取り組みます。

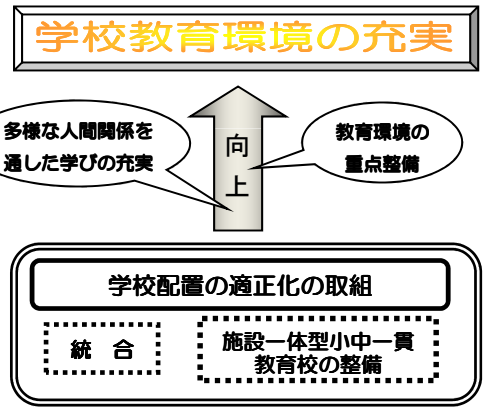
◎小中一貫教育の推進

全中学校区で，小中一貫教育カリキュラムに基づいた「自ら考え学ぶ授業」づくりに取り組み，学力や中１ギャップなどの課題を解消し，福山に愛着と誇りをもち，変化の激しい社会をたくましく生きる力をはぐくみます。

○学校教育の方向性の提示
　㊕ 福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針の策定

○教育内容の充実
（１）小中一貫教育カリキュラムに基づいた「自ら考え学ぶ授業」への転換
（２）㊕ 福山への愛着と誇りを育てる「大好き！福山～ふるさと学習～」の実施
（３）小中一貫教育推進補助員の全中学校区への配置
（４）㊕ Ｗｅｂ会議システム導入モデル中学校区の指定

○ ㊕（仮称）鞆小中一貫校の整備
　小中一体型モデル実践校の実施設計



【小中合同研修】

【自ら考え学ぶ授業】

【大好き！福山～ふるさと学習～】

◎学校施設の耐震化

児童生徒が安心して安全に学べるとともに，災害発生時の地域住民の応急避難場所としての役割が果たせるよう，学校施設の耐震化を推進します。

【校舎の耐震補強】

（１）屋内運動場の耐震化
　小学校　耐震補強工事6棟
　中学校・高等学校
　　耐震補強工事4棟
　　屋内運動場及び
　　武道場天井落下防止工事2棟
（２）校舎の耐震化
　小学校　耐震補強工事18棟，設計15棟
　中学校・高等学校
　　耐震補強工事8棟，設計13棟　ほか

◎通学路の安全対策（※再掲）

「福山市通学路交通安全プログラム」に基づき，学校，道路管理者，警察や地域が連携して通学路の危険箇所を合同点検し，通学路整備や交通指導の実施など，通学時における児童生徒の安全確保に取り組みます。

◎地域学習活動の支援（土曜チャレンジ教室）

地域との協働により，児童生徒に学ぶことの楽しさや達成感を感じてもらい，学習意欲や学力の向上につなげるとともに，自主的な学習習慣が身に付くように支援します。

【開設している中学校区】
東（２か所），城北，城南，鷹取，幸千，済美，大成館，松永，精華，中央，駅家，誠之，城西，駅家南，常金，新市中央，神辺東，神辺西
＊エフピコＲｉＭ会場（対象：城北，鷹取，済美，城西の４中学校区（希望者については，他中学校区からの参加も可能））

“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク

予算額　１４，２２３千円
（うち，再掲分　3,448千円）

市制施行１００周年に向けて“持続可能なまち”を構築していくため，まちづくりの原動力となる人材を育成するとともに，学びの成果を発揮し，活躍できる場を創造します。

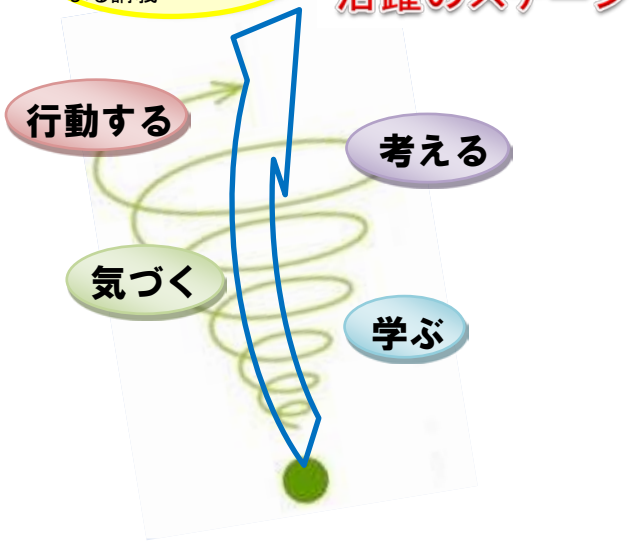
※…再掲

福山ばら大学修了生によるばら苗配布

協力隊員による里山里地再生保全活動

福山防災大学修了生（福山防災リーダー）による講義

ふくやま・まちづくり大学修了生による「まちづくりCafe」の運営支援



基本施策	主な人材育成事業	活躍のステージ
災害に強いまちづくり	福山防災大学	地域防災活動のリーダーとして，防災・減災に向けた取組を推進
自然と人が調和したまちづくり	ふくやま環境大学（※）	地域のリーダーやアドバイザーとして，環境学習の実施や環境保全などにおいて活動
こころの健康と地域福祉の充実	市民後見人養成講座 手話・要約筆記・点訳ボランティア養成講座	福山市社会福祉協議会と連携し，支援・相談を必要とする人への体制を充実
子育て支援の充実	キラキラサポーター（子育て支援ボランティア）養成講座	「こんにちは赤ちゃん訪問事業」（子育て相談や情報提供） 「子育て応援ささえあい事業」（地域で子育て家庭の見守り）
学校教育の充実	特別支援教育支援員養成講座	発達障がいの基礎的理解と支援のあり方について研修し，学校に配置
多文化共生のまちづくり	日本語支援ボランティア養成講座	市内の日本語教室で外国人の日本語学習を支援
農地・森林の保全と活用	里山里地再生保全活動リーダー養成講座（※）	活動リーダーとして全市的に里山里地再生・保全の取組を拡大
豊かで快適に暮らせるまちづくり	地域づくり（道路，水路等）推進講座	地域づくり（道路，水路等の維持管理など）のリーダーを育成
市民参画によるまちづくり	ふくやま・まちづくり大学	「まちづくり志縁チーム」の核となり，各学区でまちづくり活動に参画
ばらのまちづくり	福山ばら大学（※） 老人大学のばらづくり講座（※）	協働の視点で公共施設へのばらの植栽や維持管理，地域のばら普及を推進
人権尊重のまちづくり	ふくやま人権大学	住民学習会等の人権学習への参画
若者が活躍するまちづくり	青年のまちづくり参画推進講座（ふくやまスイッチ）	若者の地域に根ざした継続的な活動を推進
都市ブランド力の向上	都市ブランド推進講座（※）	都市ブランド力向上のための地域資源の磨き上げ，魅力発信への参画

個別の重点政策

各ページの見方

柱立て:

新　**（予算額:　　千円）**　　担当課：

期 間	年度（平成　　年度）～　　年度（平成　　年度）	数 値 目 標	

【目的（ねらい）】

【主な取組内容】

（１）新

（２）経

新マーク
2015 年度（平成 27 年度）に初めて重点政策に計上される「新規」の施策です。
従来から実施している施策であっても，重点政策として初めて計上される場合は「新規」となります。
また，これまでの継続事業に初めて取り組む事業を加え，内容を再編した施策についても「新規」となります。
【主な取組内容】について，新たに加わった事業には新としています。

経マーク
緊急経済対策分
国の緊急経済対策により，2014 年度（平成26年度）に前倒しして実施する予定の事業です。

柱立て：市民の自立と参画

市制施行100周年記念事業の推進（予算額：172，900千円）

担当課：企画総務局企画政策部企画政策課

期　間	2014 年度（平成 26 年度）～2016 年度（平成 28 年度）

【目的（ねらい）】

市民や福山にゆかりのある多くの方々とともに，2016 年（平成 28 年）の市制施行 100 周年という大きな節目を迎えることを喜び祝うため，市民が主体となった市制施行 100 周年記念事業を推進します。

【主な取組内容】

福山市市制施行 100 周年記念事業推進委員会に設けた地域まちづくりイベントや歴史・文化・音楽，スポーツイベントなどの部会において，記念事業の事業内容を取りまとめ，「市民全員参加」に向けた記念事業を実施します。

○プレイベント※1 の実施

・市民提案型イベント
・同年に 100 周年を迎える愛知県岡崎市や兵庫県尼崎市との 3 市合同によるＰＲ・連携事業
・記念事業の広報・ＰＲ　など

○100 周年事業※2 の実施

・市民提案型イベント
・市内 6 つのエリアで実施する地域まちづくりイベント
など

市制施行 100 周年記念日：2016 年（平成 28 年）7 月 1 日
※1 プレイベント：2015 年（平成 27 年）1 月 1 日～12 月 31 日
※2 100 周年事業：2016 年（平成 28 年）1 月 1 日～
2017 年（平成 29 年）3 月 31 日

目標

100 周年記念事業への全員参加

「100 万本のばらのまち福山」の実現

【「福山市の好きなところ」ポスターデザイン募集　入選作品】

柱立て：文化財の保護と活用

鞆地区町並み保存（予算額：56，638千円）

担当課：教育委員会文化スポーツ振興部文化課

期 間	2007 年度（平成 19 年度）～	数 値 目 標	町並み保存事業補助件数　6 件

【目的（ねらい）】

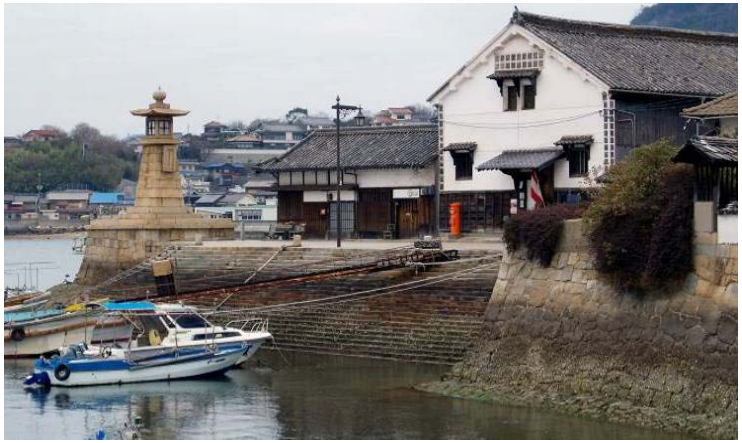
古くから瀬戸内の要港として繁栄した港町・鞆には，江戸・明治期の伝統的建造物が数多く残っていますが，老朽化が著しく，早急な保存整備が必要な状況にあります。

鞆町伝統的建造物群保存地区において，建造物などの保存整備を重点的に推進し，国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を目標に，歴史的町並み景観の保全に取り組みます。

【主な取組内容】

・伝統的建造物群保存地区において，伝統的建造物である町家や土蔵などの修理事業や伝統的建造物以外の建物を歴史的町並み景観に調和させる修景事業の支援を充実します。

・重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け実施した補完調査をもとに，住民に分かりやすい講演会の実施やパンフレットなどを活用し，町並み保存の啓発に取り組みます。



【鞆の町並み】

柱立て：鞆地区の再生・活性化

鞆地区まちづくりの推進（予算額：446，913千円）

（うち，再掲分　101，238千円）

担当課：　建設局都市部都市計画課　企画総務局総務部総務課
教育委員会管理部教育総務課　文化スポーツ振興部文化課
消防局警防部警防課　上下水道局工務部下水道建設課

期　間	2005 年度（平成 17 年度）～

【目的（ねらい）】

鞆地区の再生・活性化に向け，地域との協働により，歴史や文化と地域社会が調和し，安全で快適な生活環境と活力ある地域社会の構築を図ります。

まちづくりの目標

- 安全で快適な生活環境の整備
- 歴史・文化と地域生活の調和
- 活力ある地域社会の構築

【主な取組内容】

（１）鞆地区公共施設整備

支所機能，公民館機能，観光交流機能などを併せ持つ鞆地区の玄関口にふさわしい地域の交流拠点施設として鞆支所・鞆公民館を再整備します。

（２）㊐耐震性貯水槽整備

木造建物が密集し，道路が狭隘（きょうあい）な鞆地区の地理特性を踏まえ，震災時の断水時等にも有効な耐震性貯水槽を整備します。

（３）公共下水道整備

快適で衛生的な生活環境を確保するため，汚水管渠を整備します。

（４）㊐（仮称）鞆小中一貫校の整備（※再掲）

小中一貫教育の推進に向けた，鞆小中一貫校の整備を行います。

（５）鞆地区町並み保存（※再掲）

【鞆支所・鞆公民館（完成イメージ図）】

【小中一貫教育の推進】

【鞆の町並み】

都市ブランド戦略の推進（予算額：39，058千円）

担当課：　企画総務局企画政策部ふくやま魅力発信課
経済環境局経済部産業振興課
教育委員会文化スポーツ振興部文化課

期　間	2014 年度（平成 26 年度）～

【目的（ねらい）】

都市ブランド戦略を推進し，まちの魅力を高めることにより，市民の地域に対する誇りと愛着を深めるとともに，「行ってみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」と思われる創造性あふれるまち（クリエイティブなまち）をめざします。

【主な取組内容】

「福山市都市ブランド戦略」に基づき，クリエイティブなまちづくりに取り組みます。

（１）都市ブランド戦略の推進

・㊐2014 年度（平成 26 年度）に創設した「福山ブランド認定・登録制度」により福山らしい産品やまちづくり活動などの価値を高めるとともに，積極的な情報発信や販路拡大への支援を行います。

（２）「福山らしさ」の発信

・郷土料理「福山うずみごはん」のプロモーション活動
・島田荘司選　第８回ばらのまち福山ミステリー文学新人賞（作品募集，受賞作の出版を通じた情報発信）
・郷土の偉人などを描いたまんが「福山を知ローゼ」の制作
　第３集：窪田次郎（販売）
　第４集：１００年物語（作画製本）

【福山市都市ブランド戦略のロゴマーク】

【都市ブランド講演会】

【福山ミステリー文学新人賞】

【福山うずみごはん】

【福山を知ローゼ】

柱立て：都市ブランドの創出と発信

㊊戦略的な観光振興（予算額：2，000千円）

担当課：　経済環境局経済部観光課

（うち，再掲分　2，000 千円）

期　間	2015 年度（平成 27 年度）～	数　値　目　標	総観光客数：710 万人【2016 年（平成 28 年）】

【目的（ねらい）】

「ばらと潮風，歴史のかおる 観光交流のまち 福山」をめざし，市制施行 100 周年に向けてさまざまな観光振興策を行っています。

本市にある観光資源に改めて着目し，魅力ある観光資源を最大限に生かした観光商品を作り，交流人口の増加に取り組みます。

【福寿会館から福山城を望む】

【主な取組内容】

（１）㊊㊎インバウンドの推進

福寿会館を中心とする文化ゾーンを活用し，外国人観光客をターゲットにした旅行商品開発やプロモーションビデオの作成などに取り組みます。

（２）㊊教育旅行の誘致に向けた取組（※再掲）

内海町で新たに体験型の民泊事業に取り組むとともに，近隣市町と連携し，備後圏域への教育旅行の誘致に向け取り組みます。

（３）㊎産業（環境）観光の推進（※再掲）

環境施設や産業施設を巡るモニターツアーなどを行いながら，本市の強みを生かした観光素材の発信に取り組みます。

【コスプレ体験メニューイメージ（写真は長崎市出島）】

【教育旅行：体験メニュー・船釣り体験】

【環境教育旅行：福山市次世代エネルギーパーク】

【環境教育旅行：エコバッグ制作】

柱立て：　効率的･効果的な行政運営の推進

公共施設サービスの再構築（予算額：5，500千円）

担当課：　財政局財政部資産経営戦略課

期　間	2011 年度（平成 23 年度）～

【目的（ねらい）】

人口減少社会の到来や厳しい財政状況，多様化するニーズに対応し，将来にわたって公共施設サービスを適切に提供し続けるため，公共施設全体のあり方について検討し，効率的・効果的な公共施設サービスの再構築に取り組みます。

【主な取組内容】

- ㊐本市が保有する建築物や道路，橋りょう等のインフラなどすべての公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進するため，「（仮称）公共施設等総合管理計画」を策定します。
- ㊐地域のまちづくり活動を支える身近な拠点を形成するため，地域交流施設などの再整備方針を策定します。

【地域交流施設等再整備懇話会開催の様子】

柱立て：地域の活性化

競馬場跡地利活用の推進（予算額：101，800千円）

担当課：　企画総務局企画政策部企画政策課
教育委員会文化スポーツ振興部社会教育・スポーツ振興課ほか

期　間	2013 年度（平成 25 年度）～

【目的（ねらい）】

福山市営競馬場跡地が，本市の将来の発展の礎となるとともに，市民にとって希望ある未来と心安らぐ豊かな暮らしが実感できる利活用に向け，具体的な取組を進めます。

【主な取組内容】

競馬場跡地利活用基本計画に基づき，競馬場跡地に整備する施設等の具体化に取り組みます。

○新総合体育館の基本・実施設計
○跡地周辺道路の実施設計　など

基本コンセプト

水と緑に包まれた健やか・未来ふくやま創造交流拠点

みらい創造ゾーン

次なる 100 年の福山の発展を見据え，人づくり・ものづくり・コトづくりにチャレンジする創造・交流の場づくりをめざす

スポーツ・健康ゾーン

市民が幅広く，気軽にスポーツ・健康づくりを楽しめる拠点。老朽化した市体育館を建替え，全市的な位置付けの新たな総合体育館を整備

やすらぎゾーン

水と緑の環境を生かした市民が誇れる魅力的な公園・広場・緑地空間を整備

※配置，規模等具体については，基本計画の中で定める。

【土地利用のイメージ】

柱立て：地域の活性化

産学官連携の推進（予算額：7，895千円）

担当課： 企画総務局企画政策部企画政策課
経済環境局経済部産業振興課

期 間	2011 年度（平成 23 年度）～

【目的（ねらい）】

産学官が経済，教育，福祉など幅広い分野で連携し，地場産業の活性化や地域社会に貢献できる人材育成等に取り組むことで地域社会の発展をめざします。

【主な取組内容】

（１）大学との連携事業の実施（地域課題の解決）

○市立大学との共同調査・研究
- 福山市の企業構造変化に関する研究
- 福山市の保幼小連携に関する研究　など

○福山大学との包括協定に基づく取組

（２）産学官連携の推進

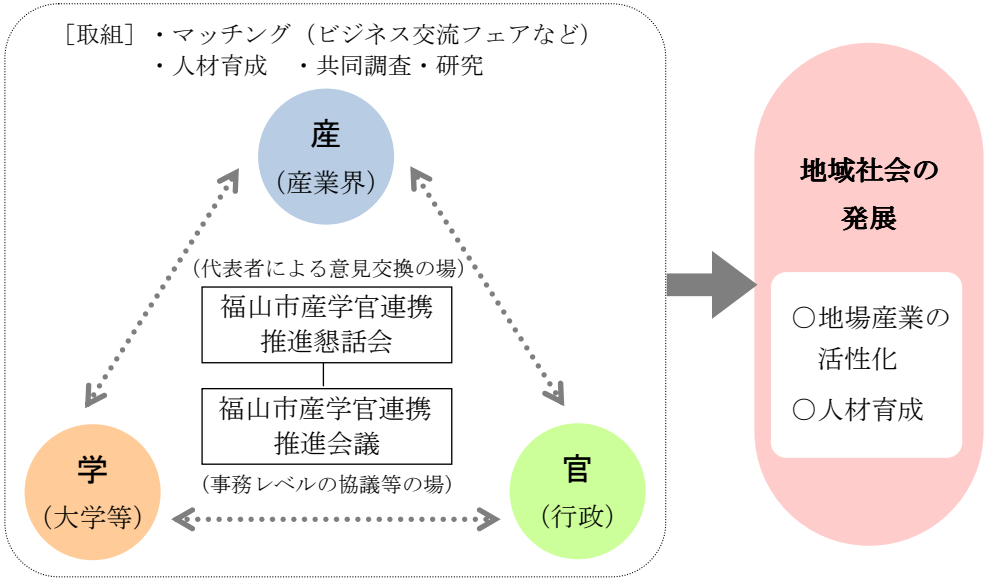
○福山市産学官連携推進懇話会等の開催
産業界・大学・行政の代表者による意見交換の場など（年1回程度）

○企業と大学とのマッチングの充実（情報の一元化など）

○共同調査・研究

（３）㊐中小企業支援員の設置

巡回相談による企業の実態把握や問題解決など，中小企業者に寄り添ったきめ細かな支援を行います。



【福山市の産学官連携】

■ビジネス交流フェア

○人材・情報交流

○新しいビジネスチャンスの発掘

［内容］
- 個別商談会
- 名刺交換会　など

［参加］

企業　大学　行政

【ビジネス交流フェアの様子】

柱立て：地域の活性化

スマートIC（インターチェンジ）の整備（予算額：218，000千円）

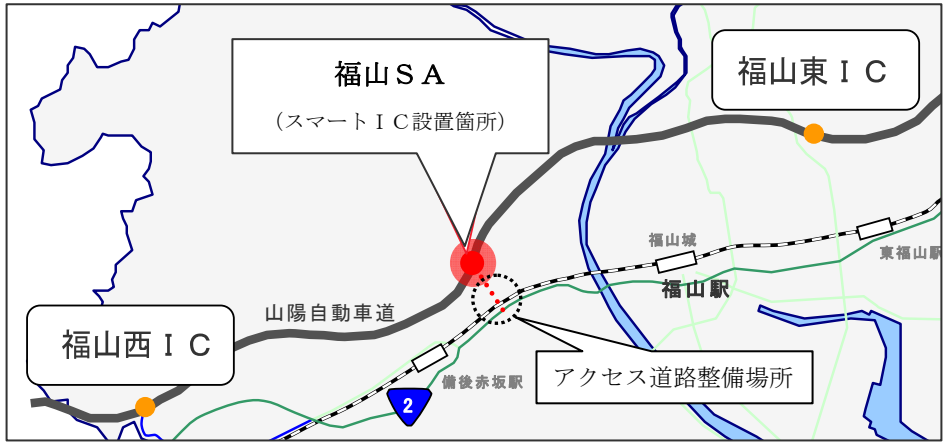
担当課：　建設局土木部幹線道路推進室

期　間	2012 年度（平成 24 年度）～2017 年度（平成 29 年度）

【目的（ねらい）】

福山東ＩＣと福山西ＩＣの中間に位置する福山ＳＡ（サービスエリア）にスマートＩＣ※を整備することにより，山陽自動車道から中心市街地や主要観光施設などへのアクセス性を高めます。また，交通の分散によって福山東ＩＣ周辺における交通渋滞の緩和に努めます。

※「スマートＩＣ」…ＥＴＣを搭載した車両専用のインターチェンジ



【主な取組内容】

・スマートＩＣと国道２号を円滑に結ぶアクセス道路を確保するため，市道整備に向けた用地取得や工事などを行います。
（スマートＩＣ本体に関連する工事は，西日本高速道路(株)中国支社が行います。）

【他都市の事例】

柱立て：地域の活性化

㊊活力とにぎわいあふれる港づくり（予算額：5，887千円）

担当課：　建設局土木部港湾河川課

期　間	2012 年度（平成 24 年度）～2016 年度（平成 28 年度）	数　値　目　標	年間コンテナ取扱量　約８万TEU(※)→１３万TEU(※) ※ ｺﾝﾃﾅ取扱個数の単位。長さが約６ｍのｺﾝﾃﾅが１TEU に相当する。

【目的（ねらい）】

福山港の利用促進によって，地域経済の活性化や雇用を促進するとともに，全国的な知名度や都市ブランド力の向上を図るなど，活力とにぎわいあふれる港づくりに取り組みます。

【主な取組内容】

（１）「ふくやま港まつり」の実施

福山港の知名度向上を図るため，帆船などを招致してのイベントを開催します。

（２）クルーズ客船の誘致

福山港のブランド力の向上を図るため，クルーズ客船を誘致します。

（３）企業訪問（ポートセールス）の実施

コンテナ取扱量の増加に向けた取組として，企業訪問などを行います。

知名度向上

【ふくやま港まつり】

ブランド力向上

【クルーズ客船の誘致】

利用促進

【ポートセールスの実施】

柱立て：消防・救急体制の充実

消防・救急体制の整備（予算額：500，237千円）

担当課：　消防局総務部総務課　警防部警防課

期　間	2005 年度（平成 17 年度）～

【目的（ねらい）】

複雑多様化する各種災害に適切に対応し，地域住民の安心・安全を確保するため，最新鋭の機能を有する消防車両への更新整備を行います。

また，消防救急無線について，より高い安全性と信頼性を確保するため消防救急デジタル無線への移行を行います。

【主な取組内容】

（１）消防車両更新整備

○高規格救急自動車

○13ｍブーム付多目的消防ポンプ自動車

（２）消防救急デジタル無線設備整備

電波法の改正により，現在のアナログ方式（150ＭＨｚ帯）の消防救急無線を消防救急デジタル無線（260ＭＨｚ帯）に移行します。

事業期間：2012 年度（平成 24 年度）～ 2015 年度（平成 27 年度）

（３）㊕消防救急デジタル無線設備整備（福山市消防団）

常備消防機関との情報共有や災害時の連携を強化するため，消防団車両等にデジタル無線設備を整備します。

【13ｍ ブーム付多目的消防ポンプ自動車】

【消防救急デジタル無線設備整備】

柱立て：　災害に強いまちづくり

上下水道施設の耐震化（予算額：253，833千円）

担当課：　上下水道局工務部下水道施設課
施設部水づくり課　施設整備課

期　間	2007 年度（平成 19 年度）～

【目的（ねらい）】

地震などの災害によって上下水道の機能が停止した場合，市民生活や社会経済活動に与える影響は甚大なものとなります。このため，災害発生時の被害を最小限に抑えるため，災害に強い施設整備に取り組みます。

【主な取組内容】

（１）下水道管渠の耐震化（下水道）

防災拠点（市役所本庁舎）から流域下水道幹線まで，管渠の接続部の離脱やマンホールからの抜け出しを防止する工事を行います。

延長　249m

事業期間：2015 年度（平成 27 年度）

（２）マンホールトイレ（災害時仮設トイレ）の整備（下水道）

広域避難場所（駅家公園）　20 基

事業期間：2015 年度（平成 27 年度）

（３）基幹配水池の耐震補強（水道，工業用水道）

千田配水池・蔵王配水池の耐震補強設計を行います。

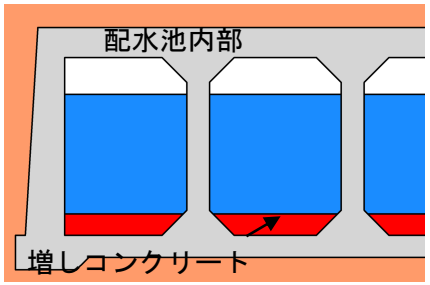
事業期間：2015 年度（平成 27 年度）～

（４）松永浄化センターの耐震補強（下水道）

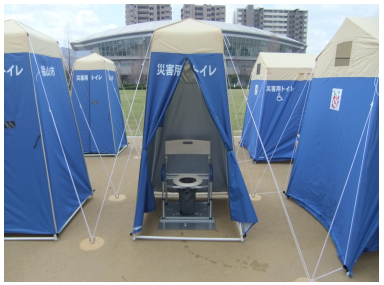
管理棟やポンプ棟の耐震補強を行います。

事業期間：2015 年度（平成 27 年度）～

【下水道管渠耐震化工事（施工後）】



【配水池耐震補強工事】
（既存配水池底版に，コンクリートを打設し補強）



【マンホールトイレ設置のイメージ（緑町公園）】

柱立て：　災害に強いまちづくり

担当課：　上下水道局工務部下水道施設課

㊊市街地の浸水対策（予算額:611，291千円）

期 間	2014 年度（平成 26 年度）～2016 年度（平成 28 年度）

【目的（ねらい）】

集中豪雨などによる中心市街地の都市型浸水被害を軽減するため，中央２号・中央５号幹線の整備による浸水対策に取り組みます。

【主な取組内容】

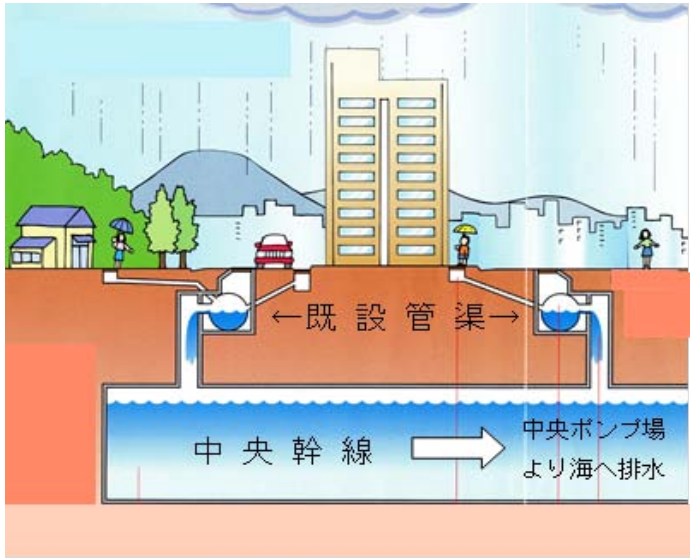
〇中央 2 号・中央 5 号幹線築造工事

西町・本庄地区の浸水対策として，西桜町一丁目から南本庄二丁目の地下に増補管を築造する工事を行います。

・延長　1.3 ㎞

・口径　2,800 ㎜

※増補管・・・既設管渠から越流した雨水を集水し，流末のポンプ場へ送水する管渠



【中央幹線のイメージ】

【中央幹線築造工事のイメージ】

柱立て：　安心･安全な給水の確保

出原浄水場の更新(予算額:377,076千円)

担当課：　上下水道局施設部施設整備課

期 間	2010 年度（平成 22 年度）～2015 年度（平成 27 年度）

【目的（ねらい)】

1959 年（昭和 34 年）の給水開始以来 50 年が経過し，浄水場全体の老朽化が著しいこと，水源である地下水にマンガンが多く含まれることなどから，6 か年計画で施設を更新します。

浄水処理方式を緩速ろ過方式から急速ろ過方式（除マンガン接触ろ過方式）に変更するとともに，施設の耐震化と洪水対策を行い，安心・安全な給水を確保します。

【主な取組内容】

（１）計装設備の設置

浄水場の運転を管理するための計装設備の設置工事を行います。

事業期間：2014 年度（平成 26 年度）～

（２）場内整備及び場内配管の布設

場内の造成や擁壁などの整備を行うとともに，給水管や雨水排水管の布設などを行います。

事業期間：2014 年度（平成 26 年度）～

（３）急速ろ過池覆蓋の設置

ろ過池開口蓋や手すりの設置工事を行います。

事業期間：2015 年度（平成 27 年度）

【計装設備の設置状況】

【出原浄水場の更新状況】

柱立て:市民の安全対策

防犯環境の整備(予算額:53, 235千円)

担当課：　市民局市民部生活安全推進課

期　間	2014 年度（平成 26 年度）～2016 年度（平成 28 年度）	数 値 目 標	防犯カメラの設置　200 台

【目的（ねらい)】

安心･安全なまちづくりを進める中で，街頭での犯罪の発生を抑止することを目的に，防犯カメラを設置します。

【主な取組内容】

駅周辺など不特定多数の者が往来し，防犯上高い効果が期待できる公共空間に防犯カメラを設置します。

また，地域住民が犯罪の発生に関し不安を感じている場所に，学区（町）まちづくり推進委員会などの地域団体や事業者が設置する防犯カメラの設置費用の一部を助成します。

期間：2014 年度（平成 26 年度）～2016 年度（平成 28 年度）

【JR福山駅周辺】

【手城中公園設置の状況】

柱立て：市民の安全対策

歩道・自転車走行空間の整備（予算額：391，000千円）

担当課：　建設局土木部道路整備課
　　教育委員会学校教育部学校保健課

期　間	2002 年度（平成 14 年度）～2020 年度（平成 32 年度）

【目的（ねらい）】

子どもや高齢者，障がいのある人などに配慮した安全性が高い歩道の整備を計画的に行い，快適な歩行空間の確保に努めます。また，福山駅を中心とした半径約５ｋｍの範囲を自転車と歩行者双方が安心・安全に通行できるよう整備します。

【主な取組内容】

（１）歩道整備

歩道の拡幅やバリアフリー化に取り組みます。

・東福山地区（山手東手城幹線（南蔵王工区），東福山駅伊勢丘幹線，東福山駅前幹線）
・福山駅周辺地区（草戸松浜幹線，三吉入船幹線）
・山手東手城幹線（山手工区）

（２）通学路の安全対策

通学時における児童生徒の安全確保のため，区画線による歩行空間の確保やカーブミラーの設置など通学路の整備に取り組みます。

（３）自転車走行空間整備

自転車通行ゾーンの整備や路面表示に取り組みます。

・福山駅南手城幹線　・千田一文字幹線　・御幸地吹幹線
・福山駅旭町線

【歩道整備】

【自転車走行空間整備】